

令和4年第3回定例区議会が開催されました

第三回定例区議会日程

令和4年9月13日から10月13日の31日間の会期で第3回定例区議会が開催され、予算案5件、条例案18件、契約案2件、報告案5件、人事案1件、その他案3件、請願4件、議員提出議案2件、計40件についての審議が行われました。

令和4年度一般会計補正予算

(第2・3号)他が原案通り可決

補正予算第2号は歳入歳出にそれぞれ155億6611万6千円を、補正予算第3号は歳入歳出にそれぞれ37億6648万8千円を追加し予算の総額を2351億3999万2千円とする一般会計補正予算案が可決しました。

令和4年度補正予算2号の主な内容

●総合庁舎整備基金積立金	15億円
●公共施設等整備基金積立金	40億円
●新型コロナウイルスワクチン接種事業経費 (4回目接種拡大分)	13億8,100万円
●プレミアム付商品券等商業振興事業経費	11億5,000万円
●新金貨物線旅客化整備基金積立金	10億円
●新型コロナウイルス関連の防疫事業経費	3億736万円
●子宮頸がん対策事業経費	1億2,766万円

他となります。補正予算第3号の内容は、全額、価格高騰緊急支援給付金給付事業経費となります。

一般質問



池田ひさよし

不適正な事務処理の根絶と地域の公共交通の充実を

◆現庁舎新館の今後の活用

問 残して活用していく新館について、総務委員会で示された新館断面イメージ図では、地下1階に中央管理室・機械室との記載がある。旧葛飾赤十字産院前の電柱に表示されているとおり、立石五丁目地区の想定浸水深は3メートルであるのに、それに耐え、機能を維持し続けることができるのか、見解を伺う。

答 現庁舎新館についての今後の具体的な活用方針を定める過程では、配置する部署や機能によって、例えば、地下にある中央管理室・機械室及び設備機器類を最大浸水深よりも高い地上階に配置することや、現庁舎敷地内にバックアップ機能を有する付属プラント棟を新設することなど、水害時にも機能低下を招かない設備形態も見据えながら、さまざまな選択肢を比較検討していく。

※他の質問項目
都との共有持ち分割合の変更・整理 など



洪水標識板
(まるごとまちごとハザードマップ)
写真：「区議会だより」より

◆長期広域停電（ブラックアウト）

問 防災訓練においても、ライフラインの長期途絶を想定すべきと考えるが、見解を伺う。

答 各学校に備えている避難所ボックス内の各種施設のマニュアルの更新などを随時進めるとともに、避難所運営訓練などを活用し、区民の方への周知も努めていく。

※他の質問項目
地域の自助・共助努力を促す取り組み など

◆地域の身近な交通と買い物支援のための移動販売

問 今後も地域乗合タクシーさくら事業を継続していくためには、どのような工夫が必要なのか。また、区はさくらの将来展望をどのように考えているのか伺う。

答 運行経費縮減による事業継続を図るため、本年7月15日に朝夕の運行車両を1台減らした形でのダイヤ改正を実施した。また、現行車両が老朽化していることは本区としても認識しており、現在、運行事業者と将来的な車両の入れ替えについて協議を進めている。今後ともこうした工夫を凝らしながら、地域の方々のご意見を丁寧に向い、日常生活に欠かせない地域の移動手段となっていく。

◆相次ぐミスと区政運営

問 区長とは、行政の長としての面と政治家としての面があると発言しているが、どのような趣旨で発言したのか。また、どちらを重視しているのか、区長の見解を伺う。

答 政治家として区民に約束した公約を実現するため、行政の長として一つ一つ公約内容を実行しながら区政を進めており、政治家としての面と行政の長としての面は一体不可分である。このため、行政の事務に専ら携わる一般職の公務員とは、活動内容も発信内容も大きく異なる。両面をともに大切にしながら、幅広くさまざまな活動を行っている。

問 保育園に返還を求めるとしても、令和3年度の決算額は本来の正しい金額ではなく、誤った金額になっている。また、平成30年度から令和2年度までの3年間の決算額も誤っていたことになるが、このことについて区はどのように認識しているのか伺う。

答 決算額は、各年度における収入と支出の積み重ねの結果が調製されたものである。平成30年度から令和3年度の決算額については、保育所運営費助成の額に算定相違はあったものの、現に支出された金額が反映された結果と認識している。今般の算定相違分については、返還額の歳入の際に適正な年度での決算報告を行っていく。

※他の質問項目
保育園への補助金誤支給問題への対応 など

◆中学校の部活動指導の地域移行

問 本区において、今後は運動系と文化系の指導者等の確保や申し込み受け付け、また、PR等も所管の

地域教育課で担当し、専門の係を設置して、全ての業務を行ってもらうことが最適ではないか、見解を伺う。

答 部活動の地域移行については、現在の外部人材の活用を踏まえ、地域教育課を中心に、関係部署による庁内検討会を設け、国の動向や都の推進計画の策定状況も注視しながら、文化部活動を含めた課題の整理や、推進計画の策定について検討を進めていく。

※他の質問項目 持続的な音楽的活動 など

◆旧小谷野小学校の今後の活用の検討等

問 旧小菅保育園・児童館敷地の土中アスベストについて、5月の住民説明会及び町会役員会でも早急に撤去と説明しているのですが、次の対策を検討してもらいたいがいかがか。

答 旧小菅保育園・児童館敷地のアスベストは土と混合された状態になって地中に埋まっており、確立した撤去手法がない。引き続き、さまざまな知見を得ながら工法を研究し、技術の進歩も見据え、他自治体での類似事例や学会等の最新の研究などを参考にすると、安全な撤去のための調査・研究を進める。

問 当該アスベストの除去に向けては、民間活力の活用も視野に入れながら、検討を進めるべきであると思うがどうか。

答 ささまざまなノウハウやスキルを持ち、経験値の高い民間事業者もいるかと思うので、暫定活用をしている間に、民間活力の活用も検討していきたいと考える。引き続き、区の対応について、地域の皆さまにご理解いただけるよう、丁寧な説明を重ねていく。

※他の質問項目 旧小谷野小学校の今後の在り方に関する検討状況 など

一般質問



高木 信明

積極的な公共施設マネジメントと駅周辺が連携した街づくりを

◆人口減少下における公共施設マネジメントのあり方

問 社会状況の変化を捉えた公共施設マネジメントについて、区の認識について伺う。

答 公共施設マネジメントにおいては、人口動態の変化を見据えた公共施設の在り方に加え、社会経済状況の変化に伴った対応をいかなければならない。時代や地域特性に合致した真に必要な区民サービスを提供していくことを念頭に、今後も社会状況の変化を的確に捉え、より効果的・効率的な施設マネジメントを進めていく。

問 双葉中学校の南側所有地に新たに整備をする屋内温水プールについては、学校の水泳指導での活用だけでなくとどまらず、地域活動など複合的に活用できる施設として整備していく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 双葉中学校南側所有地の活用については、現時点では、教育委員会において区西部の学校温水プールの建設候補地を決めた段階であり、施設規模や機能など、これから検討に着手することになっている。今後は、教育委員会事務局と連携を図り、日影規制などの法的な条件の確認を行い、周辺公共施設の状況などを勘案した上で、計画を進める。

※他の質問項目 ハコモノ施設の在り など

◆適正な業務執行体制の確保に向けた取組

問 区は、相次ぐ不適正な事務執行につながった原因はどこにあると考えているのか。また、適正な業務執行体制の確保に向けて、どのような対策を行ってきたのか伺う。

答 適切なタイミングで効果的なチェックが行われなかったことが、事前にミスを防止できなかった最大の原因であったと考える。再発防止に向けた取り組みとして、責任あるチェック体制の構築、不適切な事案の情報共有、研修での対応強化に取り組む、今後とも、業務内容に応じたチェック方法を確立するとともに、研修での

対応を強化し、全庁を挙げて再発防止に取り組んでいく。

問 組織的なチェック体制を構築するには、そのための時間的な余裕を生み出さなくてはならない。限られた人員でチェック体制を充実していくためには、一層のデジタルトランスフォーメーションを推進する必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 これまでの業務をデジタル技術で変革する取り組みは大変重要である。技術革新の動向も踏まえながら、区の業務に最適なツールの導入を検討し、業務に応じてセキュリティ対策をしっかりと行いながら、庁内のさまざまな業務への活用をさらに進め、一層のデジタルトランスフォーメーションを推進していく。

※他の質問項目 強固な組織を構築するための環境整備や改善 など

◆葛飾区新型インフルエンザ等対策行動計画等の見直し

問 現在の葛飾区災害医療救護計画の見直しの状況と、今後の医療救護体制の方向性について伺う。

答 区内8か所の小中学校に設置するととしていた緊急医療救護所を、過去の事例から病院前に設置し、トリアージを行う体制に見直したほか、そこで使用する医療資器材も軽傷者に特化し、より多くの方を迅速に救護できるよう見直しを図っている。今後は計画をより実効性のあるもの

としていくため、関係機関との協議を継続して実施するとともに、新たな計画に即した訓練を実施し、検証していきたいと考える。

※他の質問項目 葛飾区新型インフルエンザ等対策行動計画や葛飾区業務継続計画（BCP）健康危機管理編の見直し など

◆葛飾区新型インフルエンザ等対策行動計画等の見直し

問 青砥駅、お花茶屋駅、堀切菖蒲園駅の周辺地域の街づくりについて、各駅周辺、さらには3駅周辺の住民が連携し、力を合わせて勉強していこうという機運が高まっていると考えるが、区の見解を伺う。

答 3駅周辺については、地域の将来像の実現や課題解決に向け、地域の方々が主体となった街づくりの検討が進められている状況にあると認識している。今後も引き続き、地域別構想案を踏まえ、都市計画マスタープランの改定に向けた検討を深めるとともに、当該3駅周辺の街づくりについて、地域の機運の高まりに応じて検討を進め、併せて、3駅周辺の街づくりの進捗に伴い連携についても考えていく。

問 地域の特性に応じた課題解決に専門的な知見が必要となる場面では、街づくりを検討する団体への区の支援が求められると考えるが、区の見解を伺う。

答 答持続可能な街づくりを実現していくためには、区民が街づくりへの意識を高く持ち、主体的に街づくりの検討や活動に取り組むことが重要であると考えている。今後も、区民等の街づくりの検討や活動に対し、支援・協力をを行い、区民主体の街づくりの実践を推進していく。

誰もが安心して暮らせる葛飾の実現を

令和3年度葛飾区一般会計歳入歳出決算への附帯決議を踏まえて認定

「①私立認可保育所の運営費助成額算定相違に関して、保育所と協議の上、返済計画を設定すること。」

「②組織的なエック体制の構築等、適正な業務運営体制の確保を行うこと。」

「③適宜適切に区議会へ説明責任を果たすこと。」

以上の附帯決議を踏まえた上で、決算を認定する。なお、各会計の決算費目の意見については、次のとおりである。

総務費

LINEアカウントの統合等、より一層のデジタル化を積極的に推進することを望む。総合庁舎の整備は、出先機関や現庁舎本館・議会棟の跡地の活用計画を早期に示すことを望む。全庁の職員のコンプライアンス意識の向上を図り、研修等の充実を要望。地域防災は、区が主体のかまどベンチを活用したイベント型の防災訓練の実施、地域のスポーツ団体に学校避難所のボランティアスタッフとしての参加の呼び掛けを望む。区民費は、駅周辺の空き店舗を活用した屋内型公衆喫煙所も視野に早期設置を望む。

福祉費

の重症心身障害児（者）等在宅レス・パイト事業経費は、感染症対策の経験を事業へ反映し、併せて、精神障害に関するレス・パイト事業の充実も要望する。児童館・学童保育クラブの会計年度任用職員の慢性的欠員、子育て支援部内の職員不足を、早急な調整を望む。保育園への補助金誤支給は直ちに返済計画を作成し、区議会や園側にお詫びと丁寧な説明をして再発防止策を早急に示すべき。若者相談事業

委託費は、早期に関係機関等と相談・連携できる環境整備を要望する。衛生費では、乳がん検診経費について、マンモグラフィーの設置医療機関を増やし、乳がん検診及びセット受診を要望する。

環境費

省エネルギー設備等導入費助成経費は、区民や事業者が利用しやすい制度への変更を要望する。太陽光発電システムや蓄電池など、脱炭素に向けた事業推進を望む。ごみ収集作業経費は、清掃職員がPCR・抗原検査で早期職場復帰できる環境体制を要望する。

都市整備費

有71系統とレインボーかつしかの再編と併せ、利用環境の充実を要望。耐震改修にも負担が増えることから、民間建築物アスベスト対策工事費等助成の増額を要望する。立石地区再開発の早期実現を目指して地区の方の生活再建を第一とし、「ひとつの立石」として統一感のある整備を要望する。空家等対策経費は、長期放置に対する支援や対策を要望する。

教育費

教育総務費は、適応指導教室に通う子どもたちの学習環境の整備と進学説明会を実施し、学びを継続できるよう求める。さまざまな悩みから自死を選ぶ子どもたちのSOSのサインにいち早く気づけるように派遣事業の強化を望む。エドテック活用を積極的に進め、さらなる学力向上を要望する。小学校費、中学校費は、水泳指導を外部委託後、泳力向上と充実した水泳指導が受けられる環境整備を求める。不審者侵入の対応訓練や用務員配置による防犯強化等、危機管理対策を求める。各特別会計は適切に執行されていると認める。